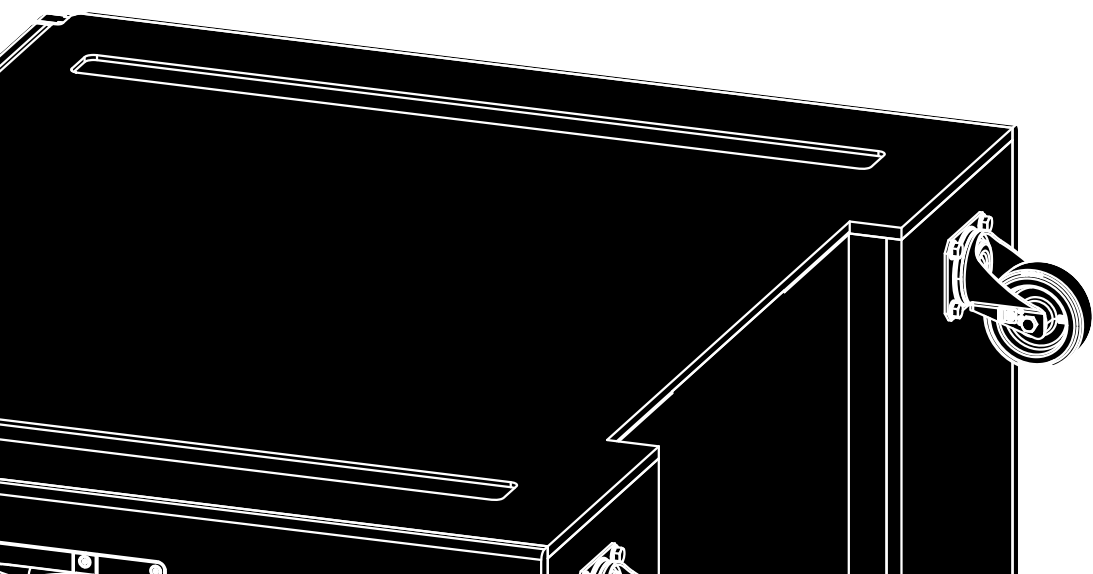
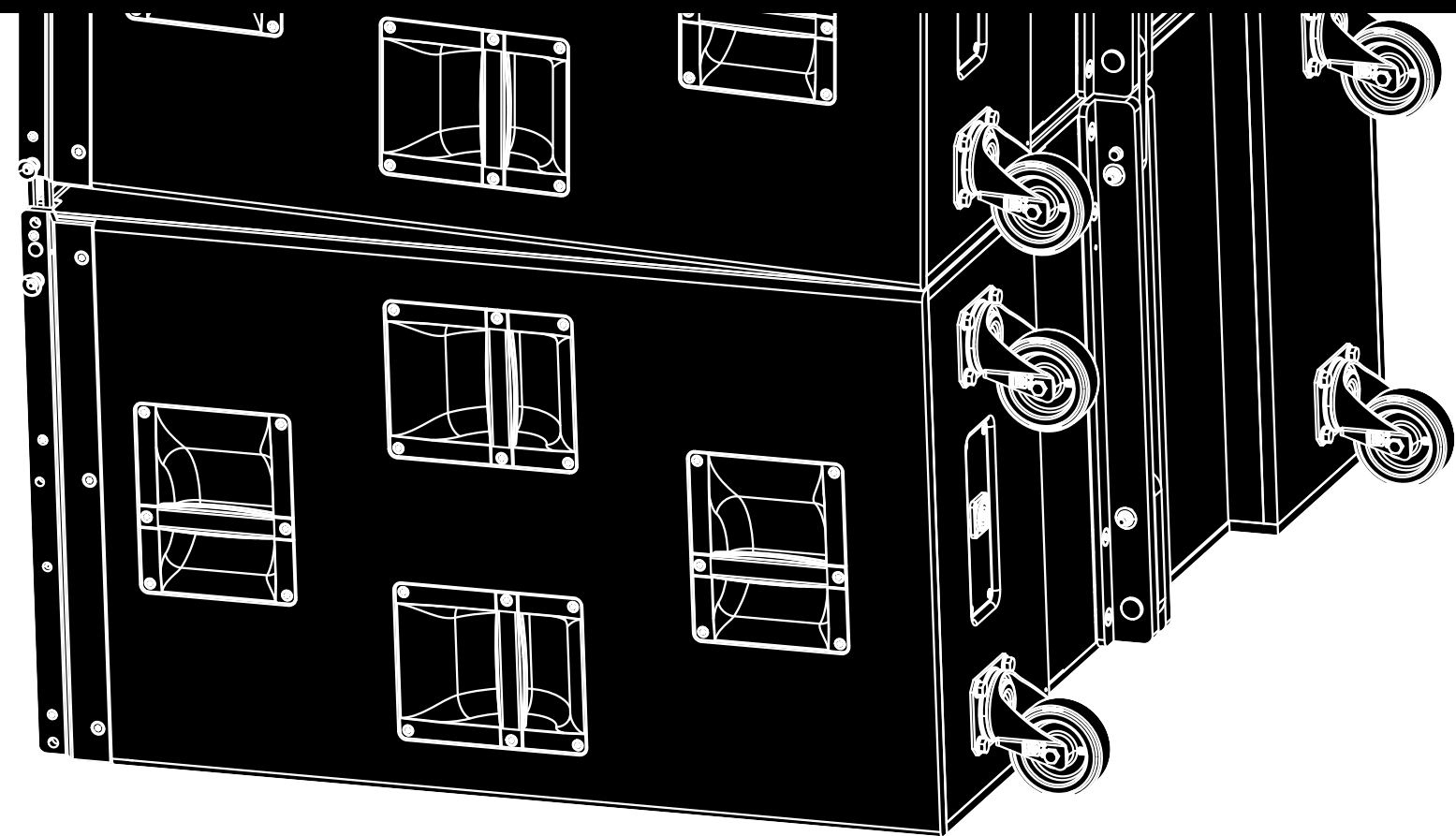


SL

SL-SUB/SL-GSUB
マニュアル 1.3 ja



概説

SL-SUB/SL-GSUB マニュアル

バージョン 1.3 ja, 10/2018, D2731JP .01

Copyright © 2018 by d&b audiotechnik GmbH; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH
Eugen-Adolff-Straße 134, D-71522 Backnang,
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

目次

1	安全上の注意	4
1.1	ラウドスピーカーを使用する際の注意点.....	4
1.2	d&bArrayCalc.....	5
2	SL-SUB/SL-GSUB loudspeaker	6
2.1	使用用途.....	6
2.2	コネクタ.....	7
2.3	Operation.....	7
2.3.1	コントローラーの設定.....	8
2.4	技術仕様.....	8
3	製造者宣言	10
3.1	ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)	10
3.1.1	WEEE 宣言 (廃棄について)	10

1.1 ラウドスピーカーを使用する際の注意点

人体に傷害をもたらす可能性があります。

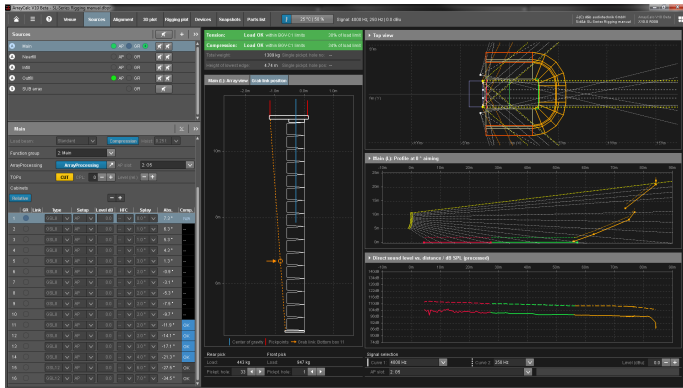
大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約 95 dB の音圧レベル SPL から）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびリギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリの正しい使用法および最大荷重量に注意を払って行ってください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。



d&bArrayCalc

1.2 d&bArrayCalc

安全性と音響の理由から d&b ラインアレイの設計には d&b ArrayCalc と textvar object does not exist を使用してください。このソフトウェアは、Microsoft Windows と Mac OS X に対応するダウンロード・アプリケーションとして、www.dbaudio.com よりダウンロード可能です。

ArrayCalc に関する詳細情報および使用方法は、ソフトウェアに含まれているヘルプシステムをご覧ください。ヘルプシステムへのアクセスには、F1 を押すか、

ArrayCalc ツールバーのヘルプボタン (?) を押し てください。これによって HelpViewer が開き、ここでプログラムの概要を確認したり、検索機能やダイレクトアクセスによって 関連情報にアクセスすることができます。

さらに、ArrayCalc では許容負荷範囲内での標準的なアレイ構成に関する情報、および機械的な負荷条件や負荷制限に関する情報を提供しています。

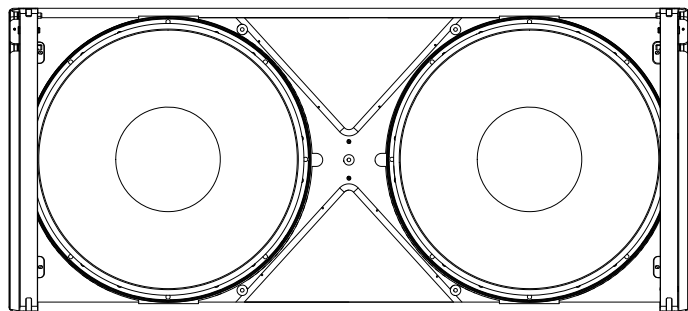
TI 385

ラインアレイ設計に関する詳細情報は、"TI 385 d&b Line array design, ArrayCalc"をご覧ください。TI はソフトウェアと一緒に提供されているが、www.dbaudio.com の d&b ウェブサイトでダウンロード可能です。

また当社では、本社にて定期的開催している d&b ラインアレイ・トレーニングセミナーに参加されることをお勧めしています。d&b セミナーに関する詳細情報およびセミナーのスケジュールに関しては、d&b ウェブサイト (www.dbaudio.com) でもご覧いただけます。

d&b 指導動画

また、d&b は d&b のウェブサイト www.dbaudio.com に関連する指導動画をご用意しています。



2.1 使用用途

注意!

d&b SL-Series ラウドスピーカーには正しく設定された d&b D80 アンプのみをご使用ください。他の使用法では、ラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあり、システムの持つ指向特性をフルに発揮できません。

製品説明

SL-SUB と SL-GSUB は、SL-Series 向けカーディオイドサブウーファーです。これは、GSL8 および GSL12 キャビネットの補完用として、フライング (SL-SUB) およびグランドスタック (SL-GSUB) の両方で使用できます。

GSL フライングフレームが使用されている場合、SL-GSUB キャビネットは最大 14 キャビネットまでのコラムでフライング設置することができます。

いずれのキャビネットもアクティブ 駆動の、2 ウェイバスレフレックス設計となっており、3 つのロングエクスカーション・ネオジミウム 21 インチドライバーが搭載されています。2 つのドライバーは前方を向き、1 つのドライバーはキャビネット後方に向いています。

フロントドライバーとリアドライバーは、別途のアンプ/コントローラーチャンネルで駆動されているとともに、独立したバスレフレックスチャンバーの中で機能しています。カーディオイドの拡散によって、システム 後方への不必要なエネルギーを抑制することで低域の残響音場を減少し、低域再生の正確性を劇的に向上することができます。

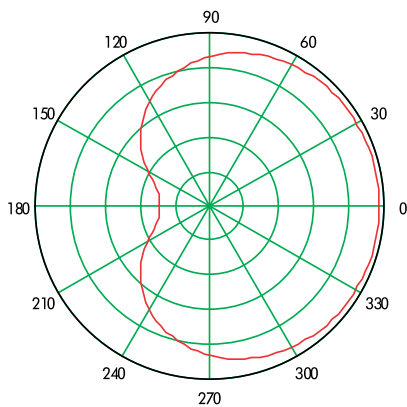
周波数特性は 33 Hz から 84 Hz (スタンダード) / 30 Hz から 65 Hz (INFRA) です。

キャビネットは船舶用合板製で、耐衝撃・耐天候仕上げ (ポリウレアキャビネット保護) が施されています。ラウドスピーカーキャビネットの前面と後面は、頑丈なメタルグリルで保護されています。両側のパネルには 1 個のハンドルが、背面パネルには 4 個の頑丈なキャスターが取り付けられています。

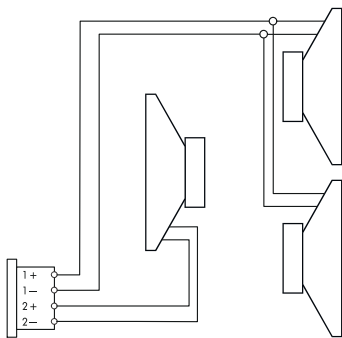
ボトムパネルにおける傷の発生を防ぐため、2 つのランナーが背面パネルから前面パネルへ伸びています。

各キャビネットの上面パネルに形成されている凹部にこれらのランナーが入ることから、SL-GSUB または SL-SUB のスタック時にもキャビネットがずれません。

SL-SUB キャビネットには、フロントおよびリア用リギング金具が含まれていますが、SL-GSUB はグランドスタック用ですので、リギングコンポーネントは含まれていません。



カーディオイドの拡散パターン



NLT4 F コネクタの結線

カーディオイド拡散

カーディオイドの拡散によって、システム 後方への不必要なエネルギーを抑制することで低域の残響音場における反射を減少し、低域再生の正確性を劇的に向上することができます。サブウーファーは 単独での使用はもちろん、スタックや複数のキャビネットを並べたり、側壁近くに設置することも可能です。(キャビネット間、側壁との距離を最小間隔: 60 cm (2 ft) 以上開けてください。) キャビネットを壁の前に設置するときは、背面のキャスターによって最小間隔が確保されます。

SL シリーズのリギングコンポーネントとアレイ

キャビネットは、必要な時に引き出して使用するキャビネット前部両側にあるリギング金具とキャビネット背面の中央にある金具で機械的に連結することができます。必要となるリギングコンポーネントは全てキャビネットに内蔵されており、使用時に開いて、または引き出して使用します。

SL シリーズのリギングコンポーネントについての 詳細は、SL シリーズリギングマニュアルに 記載されています。

2.2 コネクター

キャビネットには、フロントドライバー用ピン配列 1+/1- と、リアドライバー用ピン配列 2+/2- を使用した 1 個の NLT4 F コネクターが取り付けられています。

d&b LoadMatch

d&b の 4 チャンネルアンププラットフォームでは、LoadMatch 機能によってアンプが使用されるスピーカーケーブルの 特性を電気的に補填するため追加導線は必要ありません。このため、LoadMatch は使用するコネクターの種類に関係なく使用することが可能です。

2.3 Operation

アンプ出力モード : 2-Way Active		
用途	設定	アンプチャンネルペアによるキャビネット
SL-SUB	SL-SUB SL-SUB AP	1
SL-GSUB	SL-SUB	1

SL-SUB/SL-GSUB を標準モードで使用する場合、CUT モードで作動する d&b ラウドスピーカーシステム 用のサブウーファーとして使用することができます。システム 上の 2 つのチャンネルがカーディオイド 拡散パターンを作り出すようにチューニングされ、これによってリア方向に対して最高のリジェクションが 提供されます。また、各キャビネットの調整コラム間を 60 cm (2 ft) 以上とするフライングまたはスタックを組み合わせて使用することも可能です。

AP のセットアップ

d&b ArrayProcessing(AP) に関連して、AP のセットアップは、ArrayCalc データが含まれ、R1 を使用して d&b リモートネットワーク (OCA/AES70) を経由して該当するアンプに転送されます。

データがアンプに送信されるとすぐに、AP のセットアップが自動的に有効になります。

2.3.1 コントローラーの設定

INFRA モード

INFRA モードが選択されている場合には、システムの動作周波数上限が 84Hz から 65Hz に変更されます。これによって SL-SUB/SL-GSUB をフルレンジモードの d&b ラウドスピーカーシステムの 補完用に使用することができます。

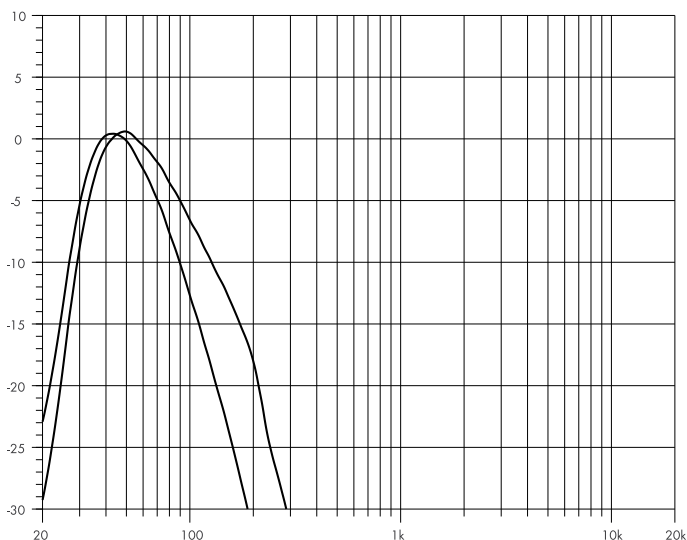
2.4 技術仕様

システムデータ

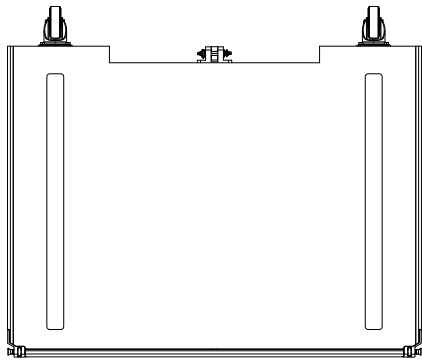
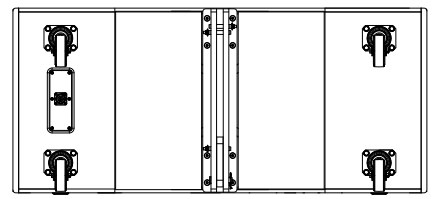
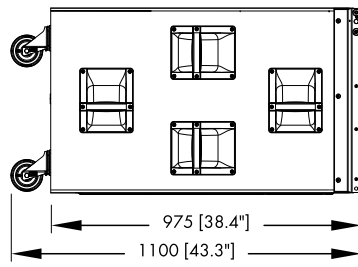
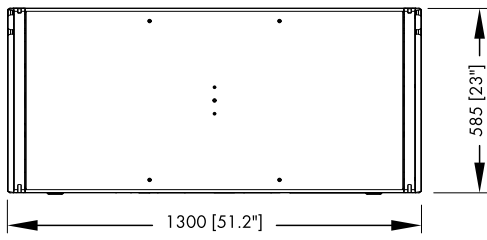
周波数特性 (-5 dB スタンダード)	33 Hz - 84 Hz
周波数特性 (-5 dB INFRA モード)	30 Hz - 65 Hz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)	144 dB
	(SPLmax: ブロードバンド信号 IEC 60268)

ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス フロント/リア	3/6 Ω
許容入力 フロント(RMS/ピーク 10 ms)	1000/4000 W
許容入力 リア(RMS/ピーク 10 ms)	500/2000 W
コンポーネント	3 x 21 インチドライバー
コネクタ	1 x NLT4 F
ピン配列 NLT4 F: 1+: フロント+/ 1-: フロント- / 2+: リア+/ 2-: リア-
重量 SL-SUB	138 kg (304 lb)
重量 SL-GSUB	132 kg (291 lb)



SL-SUB/SL-GSUB 周波数特性 標準、INFRA モード



SL-SUB キャビネット寸法 mm [インチ]*
 *同じ寸法が SL-GSUB にも適用されます



3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

d&b SL-SUB ラウドスピーカー、Z0760

d&b SL-GSUB ラウドスピーカー、Z0761

製造者 d&b audiotechnik GmbH.

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

3.1.1 WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

